

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名	なると観光ブランド化推進事業 (鳴門海峡の世界遺産化に向けて)		担当部署	経済建設部 観光振興課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	なし	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始	平成 ▼ 21 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なると			終期
(小項目)		観光			
施策	1	観光・交流のまちづくり			
基本事業	1	観光ブランドづくり			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民及び観光客						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	広域エリアからの更なる誘客を図るため、「鳴門海峡の渦潮」の世界遺産登録を目指す取り組みを進めるなど、市内における観光地のブランド化を推進する。						
事業計画	30年度に何を計画していたか	兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会を中心に、民間の推進団体等と連携し、学術調査や普及啓発活動など世界遺産登録に向けた取り組みを推進する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位
		観光入込客数	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	協議会においては、文化・自然両分野の学術調査における本格調査を実施するとともに、初めて両分野の学術調査委員会委員が一堂に會し、意見交換を行った。また、「鳴門の渦潮」をテーマにしたワークショップや文化コンクール、「鳴門海峡の渦潮を世界遺産にする会」と連携した海岸清掃を実施するなど、普及啓発活動にも努めた。平成31年3月には南あわじ市において国際シンポジウムを開催し、多くの方に参加いただいた。 市においては、ARを使用したパンフレットを活用したPRキャンペーン等を県内外で実施するとともに、世界遺産化を目指している3つの遺産(鳴門の渦潮・四国遍路・板東俘虜収容所関係資料)を巡る旅行商品の企画・造成に対する助成を行った。また、本市の「渦開き」と南あわじ市の「島びらき」の共同開催を実施した。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 実施事業数	8	8	8	8	8	回
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	観光入込客数	1,885,894	1,909,641	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)		95.5	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	0	0	0	0	3,000	3,000
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	3,000	3,000
		決算額	0	0	0	0	2,840	2,840
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)	総人件費		総事業費	
		1.0	0.1	7,534	10,374			

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：なると観光ブランド化推進事業（鳴門海峡の世界遺産化に向けて）】

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	2,990	2,840	3,000	3,000	3,000
	うち一般財源	2,990	2,840	3,000	3,000	3,000
	人件費	7,483	7,534	7,534	7,534	7,534
	総事業費	10,473	10,374	10,534	10,534	10,534

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		世界遺産登録が実現すれば、観光資源のブランド化につながり、これまで以上に鳴門公園を中心とした観光入込客数の増加が期待できる。
	効率性	B:概ね効率的だった		世界遺産登録を実現するためには、官民連携による長期的な取り組みが必要である。
②成果に対する評価	指標名	観光入込客数		外国人観光客の入込客数は増加傾向にあるが、国内観光客の入込客数が伸び悩んでいる。協議会での活動を中心に、これまで以上に普及啓発活動などの取り組みを推進する必要がある。
	目標	2,000,000	人	
	実績	1,909,641	人	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		概ね目標を達成できたことから、B評価とする。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	ユネスコにおいては世界遺産登録を各国1件に制限しており、これまで以上に登録へのハードルが高くなっているのが現状である。ユネスコや国等の動向を注視しながら、長期的な視野に立った取り組みを進める必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	協議会においては、これまでの学術調査の内容を踏まえ、世界遺産暫定一覧表記載のための提案文書(素案)の作成に着手するとともに、機運醸成を図る普及啓発活動を実施する。市においては、引き続き、県内外でPRを行うとともに、世界遺産にチャレンジしている3つの遺産を巡るツアーに対する助成を行う。			
	R2年度	前年度の反省点等を踏まえ、事業内容の見直し・検討を行う。			